

# ドクター + 教えて

## ぜつ 舌がんについて

磐田市立総合病院

歯科口腔外科 医長

杉本 圭佑



がんは全身の至るところにできますが、その1〜2%を占めているのが口の中にできる口腔がんです。日本では年間約7000人が口腔がんにかかると言われています。また、口腔がんの中で最も多いものが舌がんであり、患者数の50〜60%を占めています。

舌がんは男性に多く、50〜70歳代に発症することが多いと言われていますが、20〜30歳代の若年者にも時々みられます。がんは舌の脇の部分にできることが多く、舌の裏側などの見えにくい場所にできることもあります。舌の先端や表面の中央部分ではあまりみられません。

自覚症状には硬いしこりやただれがありまが、痛みや出血があるとは限りません。舌の動きの違和感やしびれ、口内炎が治りにくいなどの症状がみられることもあります。

た、がんが進行した場合には、痛みや出血が続いたり、口臭が強くなることもあります。舌がんの中には早い時期から首(頸部)のリンパ節に転移して急速に進行するタイプのものもあります。

舌がんのリスク因子は、喫煙や飲酒などの生活習慣に起因するとされています。また、虫歯で欠けた歯、不適合な差し歯や入れ歯による慢性的な機械的刺激も原因となります。

治療法は手術による切除、放射線治療、抗がん剤による治療があり、それぞれの療法を単独あるいは併用します。また治療の選択は、がんの進行程度や体の状態によって決定します。

気になる病変や症状が続く場合は、早めにかかりつけ医や歯科医院の診察を受けることで早期発見・早期治療につながります。

9月

## 「地域医療を考える」1月間

健康増進課 (iプラザ3階)

TEL 0538-2011  
FAX 0538-4586  
3537-4586

高齢化が進行する中で、一人一人が安心して快適に暮らすために、医療は欠かせないものとなっています。

### ○適切な医療を受けるために

病院を受診する際に、軽症の方を含め多くの方が総合病院を受診してしまうと、緊急性の高い患者さんや重症の患者さんの診療に支障をきたす恐れがあります。

必要な人が必要ときに適切な医療を受けられるように次のことを心掛けましょう。

- ・「コンビニ受診」を控えましょう
- ・「かかりつけ医」を持ちましょう
- ・医療従事者に対し、感謝の気持ちを持ちましょう

※軽症の患者が「平日は休めない」などの理由で救急外来を夜間や休日に受診すること

### ○健康診断を受けましょう

自分の体を医療に任せるのではなく、自己管理することも大切です。毎年健康診断を受け、自分の体の調子を把握し、病気を未然に防ぎましょう。

○地域医療いわた  
地域の医療・介護・福祉を守り育ていくためには、市民一人一人の思いやりが大切です。

地域医療いわたは、医療機関と行政との架け橋を意識しながら活動している市民活動団体です。7月21日(日)は、中東遠地域の仲間と浜松医科大学地域医療学講座、県西部保健所などと共同で「地域医療シンポジウムinいわた」を開催しました。シンポジウムでは講演のほかに、医療関係者との懇談会やパネル展示などで活動報告を行いました。今後もこのようなネットワークを大切にしていきたいと思っております。



地域医療シンポジウム in いわたの様子

くらしの  
情報